

地域だより 第3

地域で行われた催しや動きをお伝えします

平成23年9月～12月

内部地区ホームページより抜粋

詳しくは <http://www.utsube.jp/>



ボランティア虹の会

9/25・10/30
11/27

3回シリーズで地域の福祉を考える

ボランティア虹の会と内部地区市民センターが今年度の福祉講座を開催。テーマと講師(カッコ内)は高齢者福祉(采女の里西元一晃さん)、障害者福祉(わかたけ小西智久さん)、子育て支援(こどもスペース四日市水谷孝子さん)。



内部地区市民センター

10/10

内部の花スイセンを植えよう

四日市市農業センターの伊藤さんをお招きして「うつべ地区～花とみどり～のまちづくり講座」を開催。平成4年に制定された内部の花「スイセン」の育て方、楽しみ方を勉強。内部をスイセンでいっぱいにする活動がスタート。

連合自治会

10/4

署名 11,925人

突如わき上がった、内部地区にとっては大問題の内部・八王子線廃線の動き。存続に向けて四日市市や市議会をはじめ地域自治体も活動を展開。内部地区も署名活動に参加。12/12 四日市市・鈴鹿市自治会連合会、商工会議所などがまとめて近鉄へ提出(総数 151,306人)。



緑ゆたかな北小松を守る会

10/20・28

ふれあいイモ掘り大会

10/20 に北小松町民を対象にしたイモ掘り大会。10/28 には内部地区の子育て 4 団体に呼び掛けイモ掘りを計画。あいにく雨のため、ビニールハウスでの絵本の読み聞かせとふかしイモ、豚汁、おにぎりの食事会に変更。子どもたちは大喜び。



市議会議員連盟

10/6

内部線沿いを東海道ウォーク

今年の東海道ウォークは内部八王子線の存続を訴えて内部駅から諏訪公園までの内部・八王子線沿線約 6km。市民だけでなく市議・県議・国会議員秘書や四日市市自治会連合会関係者など約 300 人が参加。



内部地区社会福祉協議会

11/4

第44回内部地区文化祭

昭和44年に始まって今年で44回目となる内部地区最大のイベント文化祭が平成24年11月4日(日)内部小学校でありました。特別出演では内部中学校ブラスバンド部の92名が大迫力の演奏を披露、体育館いっぱいの700人に感動を与えてくれました。





内部地区市民センター他 11/14

「内部の歴史と文化」を学ぶ集い

内部地区連合自治会では来年内部地区が四日市市に合併されて70周年を迎えることを記念して記念誌発行を計画。関連行事として四日市市博物館学芸員の廣瀬毅氏を講師に招いて「内部地区の歴史と文化」について講演会を開催。



内部地区市民センター 11/16

子育て支援グループ情報交換会

北小松町「ちびっ子教室」、波木南台「ぽっかぽか」、森ヶ山町「がらがらどんの会」、菱が丘「そらまめの会」、「冒険広場をつくる会」の5団体と元保育士、児童委員、「こどもスペース四日市」、四日市市健康づくり課が参加して平成24年度2回目の「内部地区子育て支援グループ情報交換会」が行われました。

国交省河川工事事務所 11/15

小学生が内部橋工事現場を見学

平成21年から行われている内部橋の耐震補強と交通事故・渋滞解消のための車線拡幅と歩道拡幅工事を内部小3年生が見学。見学台から見る現在の工事の様子、高所作業車に乗りこんで20mの高さから眼下に広がる内部橋や内部のまちに大歓声。



内部地区自主防災協議会 12/2

内部小学校区では水害訓練

今年の防災訓練は全体では地震防災訓練でしたが、台風17号の豪雨災害の被害が大きかった内部小学校区だけは水害訓練が行われました。市危機管理室による水害への備え、水位の確認方法などの話と参加者全員が土嚢づくりを体験。



冒険広場をつくる会 ほぼ毎月開催

11月はネイチャークラフトと焼き芋

11/15 南部丘陵公園デイキャンプ場にて「ネイチャークラフト＆焼きイモ」を開催。参加者は総勢60名。先生の手本を参考にして木の実で思い思いの作品をつくったり、またおやつに北小松の皆さんから頂いたサツマイモの焼き芋など、野外でたっぷり遊びました。



かまどの家 毎月開催

サロン de 竈・le フランキかまど

古市場の古民家で、ゆっくりと流れる暮らしを楽しむ。竈の家ではそのような憩いの場として毎月サロンを開催。季節の茶菓子や飲み物、手作り教室や演奏会など、誰もが気軽に立ち寄り、気ままに過ごせる交流の場です。鼻笛の演奏会や製作講座も開催。